
「当科における甲状腺がんに対する BRAF 阻害薬の使用およびコンパニオン診断について」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの期間に埼玉医科大学国際医療センター頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科を受診し甲状腺がんと診断され、コンパニオン検査を施行、BRAF 阻害薬を内服した患者さんを対象としております。

※オンコマイン検査/BRAF 検査・・・オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システムと、MEBGEN BRAF3 キット検査にて、腫瘍組織内の遺伝子を解析し、治療につながる遺伝子があるかどうかを調べます。

2. 研究の目的

当科にてコンパニオン検査を施行、BRAF 阻害薬を内服した患者さんを解析し、患者さんの背景を調べ、今後の甲状腺がんの患者さんの診療に生かすためです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約 1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では電子カルテを使用し、性別、がん種、治療方法、コンパニオン検査の検査結果などを調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科において、研究責任(代表)者である山崎 知子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 山崎 知子(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 山崎 知子(担当者氏名)

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111(土日祝日を除く 8:30~17:30)

メールアドレス：yamaza_t“AT”saitama-med.ac.jp(“AT”を@に置き換えてください)

○研究課題名：当科における甲状腺がんに対する BRAF 阻害薬の使用およびコンパニオン診断について

○研究責任(代表)者：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 山崎 知子